

西東京三田会 令和3年度第3回 役員会議事録

日 時：令和3年7月11日（日）午前10時～11時40分

会 場：コール田無 イベントルームA

出席者：樋口[議長]、牛島、大内、行田（早退）、高橋、宝井、原(洋)、宮本、森、横田、渡辺（康生）
渡辺（康隆）、佐藤[書記]（13名）

連絡有欠席者：篠崎、坂口、原（護）、三輪、田中、小笠原、中村、井上

配布資料：①会務・会計報告、②第16回写真・作品展要綱(案)、③西東京三田会 役員の新任・退任、

回覧資料：①三田評論6、7月号

議事内容

1. 役員紹介

新理事に就任した行田・森・横田三氏の挨拶、並びに6月12日実施のリモート懇話会に不参加の高橋、渡辺（康生）、佐藤、原(洋)各理事が新理事に向けて自己紹介を行った。

2. 会務・会計報告

高橋幹事長、宮本副会長、横田会計より配布資料①に沿って報告があった。

(1) 会員の状況について

佐藤裕会員が3月25日に逝去。会員数は128名となった。（高橋）

(2) サークル等の活動状況及び関連する活動

サークル等の活動状況について各担当者から報告及び提案があった。

・ブルーベリー摘みの会…8月1日に昨年同様の形態で実施予定。近日中に案内をメールにて送付する。（宮本）

・写真・作品展の開催案について、資料②に基づき説明があった。（高橋）

(3) 会計に関し横田会計から収支報告があった。

3年度会費は78名が払い込み。2年分の払い込みがあった1名は4年度分に充当の扱いとする。未払いの会員には個別に督促の案内を行っていく。（横田）

従来使用していた無料の会場が工事等で使用不可となり、有料であるコール田無を利用せざるを得なくなった。定員の半分での利用、また、キャンセル時の手続き等も煩雑だが、当面使用していかざるを得ない。（高橋）

*ここで議長から口頭にて前回議事録の確認について動議があった。格段の意見なく了承された。

3. 役員任期について

(1) 資料③に基づき議長から説明があった。

個人的見解であるが、会則には任期2年とあるが、それに縛られることはないと思う。

会長は1年任期、他の役員は2年任期ということではない。

役員改選を中間期に行うことは殆どない(例外はH21、27年くらい)が、今回の役員体制は資料③にある、平成21年の「直井2」と同等の位置づけと考える。

令和3年度から4年度に移行する際にも同様の事はありうる。また、会長として2年継続にも固執してはいない。健康上の事もある。

(2) 質疑応答

・区切りは総会起点の年度か？（宮本）→然り。（樋口）

*質疑応答を踏まえ、2014年度の「会長職高橋」の左側の破線を右側に移し、かつ2013年度に移動するよう資料③を訂正することとした。

・本提案の趣旨は何か？（渡辺康生）

・「任期については継続審議」という前回議事録を受けて提起、説明をした。認識願いたい、ということ。（樋口）

・今回、総会にて役員が改選され任期がスタートした。従って、2年間の任期ということによるのか？（渡辺康生）

・皆が賛同すればそれでよい。自動的に2年更新となる。（高橋）

・総会での役員選出、同意は新任のみの同意なのか？ 継続役員は自動的に継続なのでは？（大内）

・留任の意向を確認したことはあったが、概ね自動的に了承してきた。（高橋）

・この議題は、今回、とりあえず「問題提起」として受け止めてほしい。（樋口）

・来年3月で幹事長職が6年になるので次回総会をもって退任したい。今後の役員会で幹事長職をどうするか、話し合っていたきたい。（高橋）

4. 今後の運営について

(1) 議長・書記の輪番制について

・会長としてひと言言わせていただく。役員役割として、体制の維持、会の盛り上げ役、会員への広報などある。また、副会長職を今回から7人に増やした。副会長には交流の場である他団体への積極的参加をお願いしたいが、併せて、今後については、副会長による議長、書記の輪番制をお願いできないか？ 以前にはそうしていた時期があった。（樋口）

・今日、この場で決めるのか？ 意見開陳か、継続審議か？（大内）

・そういうふうにしてもらいたい、という希望だ。（樋口）

・ということは後者か。書記は今も持ち回りでやっている。「議長」の持ち回りも、ということか。（大内）

・篠崎副会長も会長と同様の考えのようだ。（高橋）

・株主総会方式で会長がこれまで通りやればよい。その都度、議長が変わるのでは進捗がうまくいかないのではないか。（宮本）

・議事進行役と会長職としての発言が交錯して困ることがあった。（樋口）

・年間スケジュールの大枠が決定していて議長の役割が明確なら輪番制も成立するのでは。（原洋）

・過去の例を話したい。奥村会長から高梨会長になり暫くしてから会長の「鶴の一声」で輪番制がスタートした。「書記」と「議長」の2回続きの持ち回りだった。（渡辺康生）

(2) リモート役員会のあり方について

・リモート役員会の開催について話しあったらどうか。（高橋）

・今後、コロナ禍が拡大して対面会議が不可能になるなどした時に次善の策として実施するのはやむを得ないが、最初からリモート会議を設定することは如何なものか？（佐藤）

・「リモート」を会の活動の一つとして位置づけていくことも検討してよい。（樋口）

5. その他

9月の会場は押さえてあるが、次回の役員会は10月以降に開催することとする。新年会の開催の可否等が議題となる。

文責：佐藤